

① この施設はいつできる予定ですか。下の空欄にあてはまる数字を書きましょう。

年 月から

年 月の間



おおいた動物愛護センター（仮称）に設けられる動物保護棟のイメージ図

動物愛護センター

イメージ図公開 18年度完成予定

② この施設は何のために作るのでしょうか。リード（第1段落）にある言葉を使って書きましょう。

県と大分市は18日、大分市廻瀬野に共同で整備する「おおいた動物愛護センター（仮称）」の完成イメージ図を公開した。殺処分を減らすため、保護した犬猫を長期間収容し、積極的に譲渡を進める県内初の施設。飼い方やしつけ方、命の大切さを学ぶ場や、災害時に被災者がペットを連れて避難する施設としても活用する。

この日は県食品・生活衛生課の佐伯久課長と大分市保健所の小原重光衛生課長が県庁で会見。「犬猫をできるだけ長い期間置き、ケアをして譲渡する体制を取りたい。殺処分ゼロを目指す」と話した。殺処分せざるを得ない場合は、今後も県動物管理所（大分市小野鶴）を使う。

屋外には中・小型犬用と大型犬用のドッグラン（計約3千平方メートル）や多目的広場（約1400平方メートル）を整備する。ドッグランなどは災害時の同行避難の受け入れ場所となり、飼い主は管理棟で避難生活を送ることが出来る。

用する。2017年度中に着工し、18年度に完成予定。九州乳業が所有するみどりマザーランド内の土地と建物を購入して建設する。敷地面積は1万9500平方メートル程度を予定。総事業費は約10億円の見込み。管理棟は既存の建物を改修して利用する。新築する動物保護棟は、鉄筋コンクリート平屋（一部木造）で約9200平方メートル。犬56匹、猫100匹を収容でき、一部の部屋は屋外からも様子が分かるようにする。病気などの検査・治療室、トリミング室や触れ合いコーナーも設ける。

（2017年4月19日付朝刊県政面）

③ この施設は、ペットを飼っている人が大災害に見舞われた際に役に立ちそうです。どんなことができるようになるか、なるべく具体的にまとめましょう。